



日本一心を揺るがす講演会!

日本一心を揺るがす講演会

ウチヤマホールディングスは、十一月二十七日午後六時より、今回で第十七回目となる特別講演会をリーガロイヤルホテル小倉で開催しました。講師には、みやざき中央新聞の編集長水谷もりひと（謹）先生をお招きし、「人生が劇的に好転する魔法のメッセージ」というテーマで講演していただきました。

水谷先生は講演前に本社へ来社され、内山代表と歓談した後、北九州市内にあるさわやか俱楽部の介護施設をご案内しました。特に入居者様による館内の案内には感激された様子でした。

講演会場には、約六〇〇名のお客様が訪れ、さわやか俱楽部の入居者様も多数参加されました。司会は、本社の小橋佳緒里さんが務めました。講演はスライドを使って行われ、会場の参加者を巻き込みながら盛り上がりていきました。講演終了後には職員の子どもたちが水谷先生に花束を手渡しました。その後、会場口 billionaire に設けられた著書の販売コーナーには行列ができ、本の購入者には水谷先生が快くサインをしてくださいました。

さらに第二部として、アサノパティオに会場を移して、水谷先生を囲んでの懇親会が行われました。みやざき中央新聞を愛読されているファンの方など、約八〇名のお客様が水谷先生を囲みながら、交流を深める機会がございました。水谷先生は、参加者との記念撮影にも、終始笑顔で応じられました。

ウチヤマホールディングスは、十一月二十七日午後六時より、今回で第十七回目となる特別講演会をリーガロイヤルホテル小倉で開催しました。講師には、みやざき中央新聞の編集長水谷もりひと（謹）先生をお招きし、「人生が劇的に好転する魔法のメッセージ」というテーマで講演していただきました。

水谷先生は講演前に本社へ来社され、内山代表と歓談した後、北九州市内にあるさわやか俱楽部の介護施設をご案内しました。特に入居者様による館内の案内には感激された様子でした。

講演会場には、約六〇〇名のお客様が訪れ、さわやか俱楽部の入居者様も多数参加されました。司会は、本社の小橋佳緒里さんが務めました。講演はスライドを使って行われ、会場の参加者を巻き込みながら盛り上がりていきました。講演終了後には職員の子どもたちが水谷先生に花束を手渡しました。その後、会場口 billionaire に設けられた著書の販売コーナーには行列ができ、本の購入者には水谷先生が快くサインをしてくださいました。

さらに第二部として、アサノパティオに会場を移して、水谷先生を囲んでの懇親会が行われました。みやざき中央新聞を愛読されているファンの方など、約八〇名のお客様が水谷先生を囲みながら、交流を深める機会がございました。水谷先生は、参加者との記念撮影にも、終始笑顔で応じられました。



教えて みやざき中央新聞とは…?!

【1】時事問題【2】三面記事(事件、事故等)【3】自分達は正しい、という主張をすべて捨てた、宮崎発のユニークな新聞。水谷編集長を中心となって各種講演会を取材し、感動した話、心温まる話、ためになる話をまとめ、講師の許可を得た上で連載する、啓発を目的としたメディアである。口コミだけで読者が増え続け、その数は全国に1万人以上。紙面の中でも特に、水谷編集長による社説がたいへん感動的との評判を呼び、「日本一心を揺るがす新聞の社説」というタイトルで、ごま書房新社より2冊の本にまとめられて出版されている。

見本紙を無料で1ヶ月間購読できます。(紙版、WEB版あり)

詳しくは、宮崎中央新聞社のホームページをご覧下さい。 <http://miya-chu.jp/>



さわやか俱楽部 さわやか天の川を吸収合併

ウチヤマグループでは、これまで(株)さわやか俱楽部とその子会社である(株)さわやか天の川において、介護施設の運営を中心とした介護事業の展開を行ってきました。グループ全体としての意思決定を迅速化するため、また経営資源を集中することで効率的な運営を実現するために、平成24年12月1日、(株)さわやか俱楽部は子会社の(株)さわやか天の川を吸収合併しました。



今年もお世話になりました!

内山さわやか会 望年会

内山さわやか会恒例の年末最大行事となる『望年会』が、今年もアサノパティオにて盛大に行われました。内山さわやか会の会員企業の方々やそのご家族、その他多くの取引先の方や来賓の方々など、今年は総勢290名のお客様に参加していただきました。食事の合間に、大和証券・北九州支店の土居名菜恵課長代理によるマンドリンの素晴らしい演奏が披露されました。豪華賞品が当たるくじ引き大会には、今回も会員企業様から多くの商品が提供されました。当たり番号が読み上げられるたびにホールで歓声が上がり、当選された方も残念ながら外れた方も、一年の締めくくりを笑顔で過ごされました。来年もどうぞよろしくお願いします！

太陽光でエコ発電!!

さわやか倶楽部では、安全な自然エネルギー利用推進の立場から、九州管内の自社介護施設に太陽光発電パネルを設置する方針を固めました。先ず、有料老人ホーム「さわやか和布刈弐番館」(北九州市門司区)で30KW、「さわやか大畠参番館」(北九州市小倉北区)で12KWの出力を予定しています。さらに九州管内の既存7施設にも太陽光パネル設置を計画し、3月末までに申請を終える予定です。当面は九州地区の介護施設の屋根または空きスペースに太陽光発電パネルを設置する方針ですが、中長期的には全国で展開する介護施設に太陽光パネルを設置したいと考えています。



金メダリストに最接近!

今年の夏に行われたロンドンオリンピックで、レスリングの日本代表として出場し、見事に3連覇を果たした吉田沙保里選手、伊調馨選手の祝勝会が、12月4日に「グランドハイアット福岡」で行われました。両選手が所属する綜合警備保障株式会社の招待で、内山代表や岡野商会の岡野社長、クルーズの大塚社長、ワタヌキの綿貫専務が参加しました。オリンピック3連覇は、日本人女子としては初めての快挙で、特に吉田選手は直前に国民栄誉賞の受賞が発表されたとあって、会場には多くの招待客が詰めかけていました。



キラリ！一等星

◎ ~輝くスタッフ紹介~

STAR No.60

さわやか倶楽部 本社

市丸 裕二さん[37歳]

さわやか俱楽部に入社前の私は、北九州市内の映画館に勤務しておりました。映画館に就職する以前も、サービス業に従事してきました。それは、私が人の笑顔を引き出すことに喜びを感じるからです。

以前より医療・介護の世界のホスピタリティマインドには感銘を受けており、一念発起してホームページ二級の資格取得を決意致しました。その実

田副施設長（現さわやかみなど）
「喜びや、厳しさを指導頂
る喜びや、厳しさをお役に立ち
て頂き、当時の片桐旅館長（現
田副施設長（現さわやかみなど）
も、その先には必ず入居者兼
部へ入社させて頂きました。

ややその先に、必ず三ヶ月後着木のことで、どのような仕事に対し一つ一つの仕事をやり遂げた時、

穂の目の前で、感謝の手紙「生ん

さわやか俱楽部の仲間に感謝

皆様を笑顔にすることです。よ

お仕事の運びに多少の不満はあります。でも、何よりも、この間の勉強をさせて顶きます。

のギレのある華麗な動きには程
千を流逝しき飛ばします。

じめ幹部、上司の皆様、そして、

ます。決してあきらめず、誠実

ます。



人生のテーマ

その短い生涯でたった二篇、命を絞るようにして書き残した詩である。忘れられない詩がある。十五歳の重度脳性マヒの少年が、

ごめんなさいね おかあさん
ごめんなさいね おかあさん
ぼくが生まれてごめんなさい
ぼくを背負う かあさん
細いうなじにぼくはいり
ぼくさえ生まれなかつたら
かあさんのしらがもなかつたろうね

背負つて歩く 悲しさ
「かたわな子だね」とふりかえる
つめたい視線に泣くことも
ぼくさえ生まれなかつたら

作者は山田康文くん。

生まれたときから全身が不自由、口も利けない。通称やつちゃん。
そのやつちゃんを養護学校の先生であつた向野さんが抱きしめ、
彼の言葉を全身で聞く。

向野さんが言う言葉がやつちゃんの言いたい言葉だつたら、
やつちゃんがワインクでイエスのサイン。ノーの時は舌を出す。
気の遠くなるような作業を経て、この詩は生まれた。
そしてその一ヶ月後、少年は亡くなつた。

自分を生み育てくれた母親に報いたい。
その思いがこの少年の人生のテーマだつたといえる。
短い生涯ながら少年は見事にそのテーマに生ききり、
それを一篇の詩に結晶させて、逝つた。

生前ひと言の言葉も発し得なかつた少年が、
生涯を懸けてうたいあげた命の絶唱。
この詩が私たちに突きつけてくるものは重い。

人は皆、一個の天真を宿してこの世に生まれてくる、という。
その一個の天真を深く掘り下げ、高め、仕上げていくことこそ、
各人が果たすべき人生のテーマといえるのではないか。

ありがとう おかあさん
ありがとう おかあさん
おかあさんがいるかぎり
ぼくは生きていくのです
やさしさこそが大切で
悲しさこそが美しい
そんな人の生き方を
教えてくれた おかあさん
おかあさん
あなたがそこにいるかぎり
脳性マヒを生きていく

（藤尾秀昭『心に響く小さな5つの物語』より）

知って得する 介護保険セミナー



さわやか倶楽部では、地域の方々へ介護に関する情報を提供し、相談の窓口を開く活動を進めています。その第一弾として、12月1日に北九州市門司区の清見市民センターにて、「知って得する介護保険」というテーマで無料セミナーを開催いたしました。

1ヶ月前より、自治会長、民生委員、北九州市議会議員などの地元有力者に協力を呼びかけました。清見公民館の満治館長は、

2,400枚もの案内書を、地域住民の自宅に配布してくださいました。当日は何名の方がお見えになるか不安でしたが、70名もの方々にお越しいただき、その内6名の方には入居や見学の申し込みをいただきました。門司港バナナのたたき売り保存会の日野雄二市議会議員のパフォーマンスもあり、会場は大盛り上がりで幕を閉じました。

地域包括支援センターの吉野様からは「今回の企画はすばらしいですね。入居を検討されている方は、施設に直接足を運ぶのは敷居が高いのか、なかなか行けないものです。今回のように市民センターで行えば、足を運びやすいですから…」と、感想をいただきました。今後も定期的にセミナーを開催し、地域の行事として定着させていきます。

■さわやか倶楽部 営業促進課 課長／高橋英二



(株)ボナー 新卒内定式

来年4月に(株)ボナーの飲食・カラオケ部門へ入社する新卒内定者の為に、11月29日に本社で内定式が行われました。男女合わせて6名の内定者が、リクルートスーツに身を包んで緊張した表情で内定式に参加しました。今年は内定者のお母様も参加され、内山代表、歌野社長など幹部の話を聞きながら、来年スタートする社会人生活に思いをはせていました。

内定式の後は、ボナーの運営する居酒屋「ふっくら小倉店」にて食事を兼ねた懇親会を行い、同期の結束を深める良い機会となりました。



天理教に学ぶ「陽気ぐらし」

11月15日、本社に天理教・河原田分教会長の田浦(たうら)道則(みちのり)先生をお招きして、勉強会を開催しました。「明るい家庭を築くために」というテーマで、天理教の教えである「陽気ぐらし」をもとにした、家族の絆の大切さを、ユーモアを交えてわかりやすく解説して下さいました。本社の社員とさわやか倶楽部の各施設の職員、さらに取引先の方々など約200名が聴講しました。講義の後は、ボナーの運営する「月の庭」にて食事会が行われ、田浦先生の話に笑顔が絶えない楽しい集いとなりました。



素敵な日報の中から大発表!

BEST! 日報賞



さわやか大積館

福岡県北九州市

奥田 俊男 施設長



昨日、職員会議後、約2時間のミーティングを実施致しました。

今の大積館の現状を報告し、全スタッフ一丸となり利用者様を増やしていくということを目標に決めました。

また、事故分析を全員で行い、事故の検討を行いました。以前は、数名のスタッフしか意見を出していませんでしたが、今では全員がそれぞれの意見を述べる様になりました。少しづつ、皆、レベルアップが出来ているのだと感じています。ただ活発的な意見を出すに留まらず、実施し、結果を出していきます。



コロッケ俱楽部 魚町店

福岡県北九州市

野崎 律子さん

本日は山田様がご来店になり、ランチをお運びすると「金婚式」のお祝いがあったということで表彰状を見せて頂きました。

160組の中の代表で表彰状を受け取られたそうで、新聞にも載り、そちらも拝見させて頂きました。グリーンの着物をお召しになっていましたので「鮮やかで綺麗なグリーンですね」と申しますと、大変嬉しそうに「この着物は息子の結納の時に作った着物で、大地に根を張り葉をつけて欲しいとの願いでグリーンにしたのよ」と教えて下さいました。

私が「それでは山田様ご夫妻もまだまだずっと大地に根を張り、葉を絶えず付けていて下さい」と申しますと、「ありがとうございます。野崎さんにはこれを見て欲しかったのよ。」と言って頂きました。大変嬉しい一日でした。



さわやか春日館 中川 理恵さん

「生んでくれてありがとう」

この言葉を掛けることなく、母は昨年10月1日に永眠しました。享年75歳でした。肝臓ガンと診断され、手術後は一時回復して、元気に老人会の活動やパソコン教室、カラオケ教室と多忙な毎日を送っていましたが…。

抗ガン治療も効果なく、「疲れた、疲れた」と体調不良を訴えはじめた頃には、すでに腹水や胸水が溜まっていて、手の施しようがない状態でした。「ちょっと水を抜いて来るから」と2、3日で帰るつもりで入院したのに、すぐに帰れなくなってしまうことになるなんて、母も私も、考へてもいませんでした。でもね、お母さん。5日間だけだったけど、家に帰って来れたよね。これはね、私がさわやか春日館で仕事をさせて頂いていたから叶ったことなんだよ。スタッフの人員に余裕が無く厳しい中、快く介護休業を認め

産んでくれて
育ってくれて
ありがとう!

て下さった施設長や、仲間たちが支えてくれたお陰なの。

色々あって介護の仕事を始めたけれど、「家で看取れるね」とドクターが許可して下さったのも巡り合わせなのかもしれないね。今でも「仏壇にお供えするのに、ぴったりのお菓子があるから」と気にかけて下さるご入居者様いるんだよ。本当に幸せなことです。

4人の子供たちも、皆いい子に育ってくれています。お母さんに一番似ている、長女の笑も来年は結婚します。「命は繋がって行く…。」と、つくづく感じています。今、私はとても幸せです。お母さん私を生んでくれてありがとうございます。心からそう思います。こんな幸せを感じられるのも、今ここに生きているから。

子供の頃から、「お母さんの自慢の娘でいられるように」と頑張って來たから…。色々我慢する事も多かったけど、そのお蔭で手に入れられた信用と、信頼もあるのだと感じています。

「たくさん本を読みなさい」と、家計が厳しい中、いつも本を買い与えてくれましたね。どんなジャンルの本でも何も言わずに。大きな、大きな財産になっています。これからも勉強のできる事の幸せを、大切にしていきますね。

お母さんありがとうございます。そしてこれからも、お空の上から見守って下さいね。

最後に、お母さんが入院前にアセスメントを受けた時、「心の支えになっている人は?」との質問に、きっと厳しい表情で私を見据え「理恵さん」と言ってくれたでしょう。今でも、その時の声と顔は、私の心に焼き付いています。これが今では、私の心の支えになっています。何十年か後にお空の上で再会する時に「よく来たね」と言ってもらえる様に、しっかりとこれからも生きて行きます。そして今度こそ伝えます。「お母さん、私を生んでくれてありがとうございます」とって。

看板ができました!

ご利用者様と職員一緒に作った作品がまた一つデイサービスに飾られました。太陽がデイサービスを表しております。これからもたくさんの作品と一緒に作って飾ってまいりましょう。

午後からは館内中に美声が流れました。美空ひばりの『悲しい酒』とってもお上手です。セリフもばっちり。お見事～。雨雨ふれふれ～。仲良く歌って下さいました。今日も一日楽しいデイサービスでした。(高橋 純)

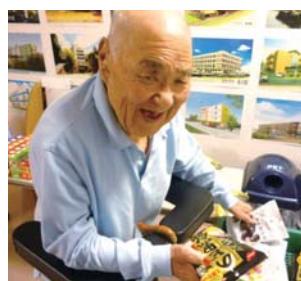


買い物レク♪

セブンイレブンさんに来て頂きました！2週間に1回ほど商品を持ってきて頂いて入居者様に買い物を楽しんで頂いている、このレクリエーション、すでに恒例の行事となっております。

「この間買った甘栗が美味しいで、今日もあるから！」と、ある入居者様。お目当てのものがありこの笑顔。「今回は見るだけにしようかな」と、言って参加された入居者様。実際に商品を手に取って見られ、お買い物を楽しまれています。朝から買い物を楽しみにしてくださっていた入居者様もいらっしゃいます。「甘いものって、ついつい食べちゃうよね」と笑顔で話してくださいました。お買い物は真剣です。お菓子や飴、パン、ジュース等の食品のほかにもボールペンや便箋、歯ブラシ、ティッシュ等の日用雑貨など数多く商品を準備しております。もちろん、入居者様の「梅干しが欲しいな」「単3電池を使いたいんだけど」という声を毎回反映させ、より楽しんで頂けるよう準備をしております。

入居者様に欲しいものを実際に見て、選んで頂き、買い物を楽しんで頂くことで、より豊かな暮らしをみなど館で送って頂きたいと思っております。(高見澤 亜季)



さわやか
にいはまかん
新居浜館
愛媛県新居浜市

各施設からのお便りを集めました！

さわやかだより



さわやか
はなみかん
花美館
福岡県北九州市

☆祝☆ご長寿♪

11月28日をもちまして、花美館の最長寿更新がありました。明治42年生まれであります、今年で103歳になられました。事前より、サプライズでお祝いをしようと計画をしており、職員で心を込めてコメントを書いた色紙をプレゼントしました。ご本人様から素敵な笑顔を頂き、私たちも長寿パワーを頂きました。最後は、記念撮影を行いました。103歳とは思えない程お元気です。

こちらの写真は居室に貼らせて頂きました。「この写真の横には104歳の写真を貼りましょうね」というと「頑張るよお」と言って下さいました。目標は花美館より世界長寿。応援お願い致します。(櫻木 良太)



さわやか
かいきょうかん
海響館
福岡県北九州市

若松名物えびす祭り！

12月2日から恵比須神社でえびす祭りが始まりました。天気も良くてお祭り日和でした。恵比須神社に行く途中に出店が沢山出ていて「美味しいそう～」と言われながら楽しそうに歩かれていました。神社につくと人の多さにビックリされながらも参拝の順番が待てない様子でした。



参拝も済んで次は…おみくじを引きました。おみくじの景品に喜んでいた方や少し不満気味の方もいて2回おみくじをされ2回とも同じ景品に思わず笑って満足したと言われてました。(乙藤 あゆみ)





外出レク!

12月6日の外出レクを紹介します。今回の外出レクは新しく開通した若戸トンネルを通り若松まで行きました。若松と戸畠が近くなり嬉しいです。若松には海や畑や港や工場もあり、とても便利な街です。

近くに馬と触れ合う場所があったので、餌やりなどを体験させてもらい、利用者様も楽しまれました。とても自然が豊かな場所ですよね。空気もとてもよく山の涼しい風が利用者様を元気にしていました。利用者様が馬を見るのが何年ぶり?何十年ぶりだったので利用者様もとても驚かれていました。副施設長が餌をあげようと頑張っています。利用者様も動物に触れ合われとてもいい日、笑顔で帰られました。動物に触れ合うと利用者様も職員も元気なパワーをもらいました。外に出る機会が増えると利用者様の笑顔や元気良さには職員が驚かされます。外出レクは、やはり利用者様も楽しみにされており、今後も外出レクを企画していきたいです。(檜垣 道夫)



門松作り

11月も終わりに近づいてきましたので、門松作りを行いました。加藤施設長の指示のもと準備、組み立てを行いました。初めて本格的な門松を作る人も多かったです。少しずつ全体像が見えてきて…ついに土台が完成しました。



12月に入り飾りつけを行っていきますのでぜひ直方館へ見にきてくださいね。(織田 浩太郎)



園児来館!



花の森保育園から33名の園児の皆さんが遊びに来てくれました。肩たきをしていただいたり、プレゼントをもらったりと入居者様は笑顔が絶えません。そしていつもお遊戯を披露していただいているのですが、今回は少し趣向を変えて、園児によるマジックショーが行われました。「ちちんぷいぷいのぷいッ」のかわいいかけ声と共に次から次へと披露される手品に、入居者様も職員も驚かさればかり。大成功のマジックショーでした。

そして次は館内の見学へ。入居者様のお部屋にもお邪魔させていただき、楽しい館内見学となりました。ぜひ、また遊びに来てくださいね。(清野 智美)



養蜂の冬支度を始めました

〈レークサイド養蜂〉の経過をお伝えします。最近、九州も寒くなつたので、レークサイドの蜂さん達も、あまり外出なくなりました。冬支度をしているんでしうね。吹きっさらしの養蜂畑ですので、昨日は私の父と、片村施設長で風よけを作成してくれました。寒い中、一生懸命して下さった施設長。強い風にも耐えられる、立派な柵が完成しました。蜂小屋の玄関には新聞を詰めて、風の通りを緩和します。これで、蜂さん達も安心して冬を越せそうです。

父より…「施設長、大きいから柵の中の作業できそうにないな…(笑)」と、言う事で、施設長は柵の外からお手伝い。仲睦まじい、養蜂家の2人でした。(小林 さおり)

12月のハートピア明礬

12月になり気温が下がっています。寒い時は温泉が恋しくなります。温泉といえば、やはり別府温泉そして明礬のお湯です。標高400Mの明礬温泉は、別府市内から比べると3度ほど気温が低くなりますが、その分温泉が気持ち良いです。

12月から冬のメニューの「冬プラン」をご用意いたしました。明礬の料理人が心をこめてご用意いたしております。温泉であったまり、旬のメニューでおなかいっぱいになりませんか?心も体も芯から癒されます。(川田 務)



幸せプラン	1室2名様以上	平日 1泊2食付 お一人様	8,800円 (入湯税別)
満足プラン	1室2名様以上	平日 1泊2食付 お一人様	10,000円 (入湯税別)
冬のいい宿プラン	1室2名様以上	平日 1泊2食付 お一人様	11,810円 (入湯税別)

※60歳以上のシニア様1,000割引

※土曜祝前日プラス1,000円

※年末年始は特別料金となります。

明礬温泉
さわやかハートピア 明 磐

大分県別府市大字鶴見1190番地の1 ご予約・お問い合わせはお気軽に
ホームページ www.sawayaka-hotel.jp 電話 0977-66-1321

冬の別府の里は “心もからだもポッカポカ”?

鶴見岳が日々雪化粧で真っ白に変化し、温泉であったまるには最高の季節となってまいりました。堀田地区の中でも温泉成分の多い「炭酸水素塩泉・美肌の湯」につかり、心身共にリフレッシュしてはいかがでしょうか?さわやか別府の里では12月より冬プランのメニューがスタートし、今回初登場の豆乳鍋をはじめ、魚、肉、野菜のバランスのとれた料理で皆様をお迎えさせて頂きます。

別府市内各所でも、クリスマスから年末年始にかけて、多彩なイベントが催されています。平成25年1月18日まで、別府公園では「別府冬粹彩」が開催され、色鮮やかにライトアップされたイルミネーションの幻想的な空間を体験できます。また12月23日・24日は、別府市冬の最大のイベント「べっぷクリスマスHANABIファンタジア」。聖夜にきらめく花火と音楽のハーモニーが、別府の冬の夜空を彩ります。

さわやか別府の里では、ご利用されるお客様を「おもてなし」と喜びとして、スタッフ一同、笑顔と元気で皆様のお越しを心よりお待ちしております。大分・別府へお越しの際は是非お立ち寄り下さいませ。

(前田 哲実)

別府市最大のイベント

「べっぷクリスマスHANABIファンタジア」

12月23日(日)・24日(月)開催



別府公園内に浮かび上がる色鮮やかなイルミネーション

「別府冬粹彩」

12月15日(土)~1月18日(金)開催



別府堀田温泉 さわやか別府の里

大分県別府市堀田4-2(堀田温泉) お問い合わせはお気軽にどうぞ!
ホームページ www.sawayaka-hotel.jp 電話 0977-26-1117

ソフトバンクニュース

みまもりケータイ好評発売中!

12月に入り寒さも増してきましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか?今回は、皆さんの大切なご家族と、簡単につながりしかも居場所を知らせることの出来る安心、便利な「みまもりケータイ2」をご紹介いたします。コンパクトで持ちやすく、電話もメールもワンタッチ操作で、お子様でもシニアの方でも簡単に使いこなせる便利な1台です。知っている人とだけつながる「発着信制限」、ボタンを押すだけで分かる「位置情報付メール」など、安心機能が充実の1台です。

しかも12月に御契約頂きましたと、基本使用料590円が「2年間無料」となります。このチャンスを利用して、大切なあの人を「みまもり」ませんか。お電話・ご来店、心よりお待ちいたしております。(谷口清流)



みまもりケータイ2

SoftBank 101Z

ワンタッチで家族と通話
居場所もすぐ分かる 安心のケータイ

福岡県北九州市小倉北区

江南町3-1 内山第27ビル1F

お気軽にお電話ください

Tel.093-951-3266

[営業時間] 10:00~19:00

SoftBank

ソフトバンク 香春口店

ディナーショー

ASA NO PATIO EVENT

アサノパティオ ディナーショー

デザート・フルーツモード
食べ放題!!

ベリーダンスインストラクター

YOSHIKO



北九州、山口県を中心、ベリーダンサー、ベリーダンスインストラクター、オーガナイザーとして活動。舞台芸術としてのオリエンタルベリーダンスに感銘を受け、その後、東京、大阪にて国内外のトップダンサーによりレッスンを重ねる。エジプシャン、アルゼンチンスタイル、ジブジー、トライバルフェスティバルなど、様々なスタイルでホテルやレストラン、舞台、お祭り等イベントなどに多数出演。またインストラクター、オーガナイザーとしても活動…ショーの演出、振付も手掛けている。

朝日カルチャーセンター、HNK文化センター、読売文化センター、毎日文化センター等にて、様々なカルチャーセンターの講師も務めた。

SHAHIDANAの日本公演の福岡公演や、中国地方公演、また、DANISAの北九州公演、LEEの日本公演、ニコル、タカダアキコ、MAYUKO他多数主催。

元KUROSAKI48リーダー 大串奈央



北九州フィルムコミッションのスタッフとして映画「オッパイバレー」や「海猿」の製作現場で働く。エキストラの世話役と指導業務。その後、福岡で演技や発声練習を積みながら地元アミューズ、「KUROSAKI48」のリーダーとしてダンスパフォーマンスやラジオ番組等で地元のPR活動に携わる。

2013.1.23水

1st stage. 開場 17:45(dinner)
演奏 18:30~19:30

2nd stage. 開場 19:50(dinner)
演奏 20:30~21:30

Bier Rest & Karaoke

ASA NO

Patio

バイキング形式 6,000円
お一人様

[ディナー・ドリンク・ショー・税金・サービス料金込]

・3drink(ビール・ワイン・ソフトドリンク)付き

*ご購入されたチケットの時間のみの受付とさせて頂きます。

福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目3-28

※無料駐車場(アサノパティオ立体駐車場)をご利用ください。

お気軽にお問い合わせください

Tel.093-533-1888 Fax.093-533-7307



原子力発電の問題

東日本大震災から一年と九ヶ月が経とうとしています。地震や津波による被害者は、平成二十四年九月十一日時点で、死者一万五千八百七十人、行方不明者を含めると二万人近くにまで膨らみました。地震や津波による被害者数は、その全容が現れて、段々と報道される」とが少なくなつてきましたが、被害の拡大は終わったのでしょうか。先日、十二月十日に福島県双葉郡大熊町の大半が「帰還困難区域」に指定されました。南相馬市、飯館村に次いで三番目ですが、この「帰還困難区域」というのは、言葉の基準として「五年以上帰れない」という目安しか明らかにされていません。つまり、帰れる日途が全くつかないのです。

「帰還困難区域」という言葉を聞いて、いつたいどれだけの人がその意味を理解しているのでしょう。東日本大震災から一年九ヶ月を経過した今も、避難生活を続いている方は三十二万五千人もおられ、福島県だけでも約十六万人おられます。そして、その多くは放射能汚染が心配される地域から避難されているのです。日本人が一致団結して、被災地の前向きな復興を支援していく中で、「この原発事故による放射能の影響は、最も長期間にわたって影響を及ぼす深刻な問題です。

ある新聞記事を見ました。それは、福島県郡山市に住む親子が、NPO法人「チエルノブイリへのかけはし」の医師に相談した内容でした。親子は震災の後いつたん埼玉県内に避難したのですが、今年三月下旬に郡山市内に戻ったところ、小学一年生の長女が、四月下旬から三週間鼻血が出続けて、このうち一週間は両方の鼻から大量に出血していたそうです。さらには長男も四月下旬から五月に同じ症状で鼻血を出し続け、非常に不安な思いで受診しましたが、医師は、その症状を見て、すぐに放射線の被害かどうかは判断できないが、ひとまず小児科で血液検査をして白血球を詳しく見てもらつて。記録を残すことが大事」という指示を受けて、いつたいどんな気持ちになるでしょう。この記事のように、言いようのない大きな不安を抱えている方が今日本に数え切れないほどおられます。そこで私は、原発について少し調べてみました。

一九八六年に旧ソビエト連邦で起こったチエルノブイリ原発事故による死

者は、運転員、消防士を含む三十三名と発表されていますが、長期的な観点から見た場合、数十万人とも数百万人とも言われています。チエルノブイリ事故によつて、子どもの甲状腺がんが増えた事実があるので、福島県では、平成二十三年十月から県内の子ども（〇歳～十八歳）三十六万人を対象に甲状腺検査を実施したところ、四割の子どもの甲状腺にしこり（結節）などが見つかっており、一人は甲状腺がんと診断されました。放射能は、その影響がいつ、どんな形で、どれだけ長期間にわたつて影響を及ぼすのか、断定できないから恐ろしいのです。

チエルノブイリ原発事故では、原発の半径三〇キロメートルは永住禁止区域になつています。放射能汚染は広範囲で汚染の高い地域が数多くあり、五〇〇〇の村が廃村となりました。そして、避難した住人の方は、放射能が体に影響を及ぼす恐怖を一生背負うだけでなく、チエルノブイリからの避難者というレッテルを貼られ、差別問題にまで発展していくのです。原発は「コストが安いといふ話をよく聞きますが、一体何から何までを計算して、コストが安いといふのか私には理解することができません。人命と経済どちらが大事なのでしょうか。

原発は、本当に避けて通れないものなのでしょうか。原発事故の前は、確かに供給されている電力の約三〇%は原子力による発電でした。しかし、一日の供給電力分布を見ると、原発が一日を通して同じ量の電力を供給しており、火力発電や水力発電は、必要な量に合わせて、調整しながら供給されていることがわかります。つまり、原発が一定の量を供給することが、前提として決まついたのです。火力や水力発電はフル稼働せずに原子力がフル稼働して不足部分を補つている形をとつていたのはなぜでしょうか。原発には宿命的な性質があるからなのです。原発は低い電力で運転したり、細かく出力調整をすると不安定で制御が難しくなります。つまり、事故の危険がそれだけ増えるのです。更に、原発は他の発電設備に比べて燃料費が安価で、建設時に莫大な建設費がかかつている関係から、一旦作つてしまつた以上、他の発電所を休ませてでも、原発をフル稼働しなければ、事業としての採算が合わないのです。つまり、危険で高価

な原子力発電所を大量に建設した結果、必然的に原発に頼らざるを得ない状況に陥つていて

のです。しかし、今年の夏、日本中が一致団結して節電を呼び掛け、原子力をほとんど使わずに、猛暑のピークである八月を乗り切った実績は、エネル

ギー問題を見直す大きな一步だと思います。

原発は確かに他の発電所に比べてランニングコストは安価ですが、その計算に事故が起つた場合の「コストや廃炉に要する費用は入つていません。十一月十日に、原子力規制委員会が、敦賀原発二号機の直下に活断層があるという見解を公表し、廃炉になる可能性が高くなっていますが、

廃炉するだけでも何千億という費用がかかります。そして、福島原発の場合は、事故後の処理に今後五〇兆円から一〇〇兆円かかると言われています。また、四〇年後、五〇年後には、放射能高レベルの廃棄物を処理しなければなりませんが、世界のどの国においても現在まだその適切な処理方法が見つかっていないので、「ストに換算する」とすらできないのです。そして、日本は事故が起つ確率が他国より遥かに高いのです。理由は言うまでもなく地震の発生の確率です。日本の面積は世界の〇・一五%と狭いですが、マグニチュード六以上の地震の、二〇・五%が日本で起つており、その確率は特出しています。福島第一原発は、「津波で壊れた」と政府や東電は主張していますが、実際は津波が来る前に地震で壊れた可能性が高いことを多くの学者が指摘しています。福島の事故で、原発の危険性は改めて世界中に認知され、ドイツでは原発を全面的に廃止しています。アメリカでも、使用済み核燃料の最終処分場が決まるまでの間、新規建設および運転延長許可の最終決定を停止することが決定しており、新エネルギー開発についても、シェールガスやシェールオイルを有効活用する技術が飛躍的に向上するなど、熱心に進められています。

その一方で、もちろん再生可能エネルギーの割合を増やしていく努力は、全力で行つていくべきです。ウチヤマグループとして、まずは太陽光発電を積極的に推進していく方針を固めました。来年の初旬にまずは「さわやか和布刈式番館」と「さわやか大畠参番館」の屋上に太陽光パネルを設置し、今後全施設に設置する方針で進めていきたいと考えています。原子力発電は、便利な面ももちろんあり、表面的なコスト面でも優れているように思えるかもしれません。しかし、それが万一一のときにもたらす被害は、数字にはできない程、重大で悲惨なものなのです。今私達の目の前にある問題を将来に先送りせず、未来を担う子孫のために、個人としても企業としても、今できる限りは今すぐにやつていかなければならぬと決意しています。



プラスの言葉で幸福をアセサム

十一月二十七日㈯、第十七回目となるウチヤマグループ主催の特別講演会を、リーガロイヤルホテル小倉で開催しました。今回の講師には、みやざき中央新聞の編集長、水谷もりひと先生をお迎えしました。社会的な事件や事故をニュースとして取り扱う一般的の新聞と違い、全国で行われる様々な講演会を取り材して心温まる話、ためになる話ばかりを紙面にまとめた「みやざき中央新聞」というユニークな新聞の存在は、以前から私も知っていました。そのみやざき中央新聞の社説が本になつていると知り、さつそく『日本一心を揺るがす新聞の社説』という本を手にとつて読んだところ、その内容に涙が出るくらいたいへん感動して、皆さんに本誌の八月号で推薦しました。続編となる二冊目も出版されていましたのですぐに購入して読み、本誌九月号で再び推薦しました。そして、このような素晴らしい社説を書かれる編集長にぜひ一度お会いして話を聞いてみたい、できる」となら講演会という形にして、地元の多くの方々とその話を共有したいと思ったのが、今回の開催のきっかけでした。

水谷先生には、講演の前に少しでも当社のことを知つていただくために、さわやか俱楽部の介護施設も見学していただきたいと思い、最初に本社で少し歓談した後に、いくつかの施設を案内しました。初対面の水谷先生は、とてもきさくで気取つたところもなく、入居者様が館内を案内する様子には、感銘を受けられた様子でした。

講演会には、一般の参加希望者やみやざき中央新聞の読者に加え、さわやか俱楽部の介護施設の入居者様、職員など約六百名の方々に来場していただきました。水谷先生の講演は、会場の参加者を巻き込みながらだんだん盛り上がりていきました。当初九十分の予定が、気付けば十分ほど過ぎていましたが、まったく長く感じられないほど、聞きこえたえあるお話ばかりでした。

先生のお話の中で、私が特に共感したのは、「プラス発想で生きよう」ということです。マイナスの言葉は、運とツキを逃し、「無理です」、「できません」などと否定的な言葉を発するたびに、幸福を遠ざけていくとい

う」とです。脳は意識したものを自然と引き寄せるという法則(引き寄せの法則)があり、「自分は幸せだ」「運がいい」とプラスに考え、プラスの言葉を発していれば、人生が豊かで幸福なものに変わっていきます。プラスに考えるのに、根拠はなくとも良いのです。私たちの祖先は、戦争や災害など様々な逆境を生き抜いて、次の世代へと命をバトンタッチしてきました。その結果、奇跡のようなめぐりあわせて私たちがこの世に生まれたのです。生きているだけで運がいい、強運の持ち主であるということに自信を持ち、日頃から「ありがとう」、「素晴らしい」、「最高!」とプラスの言葉を口に出して言う習慣をつけましょう。

また、「いのちをいただき」というテーマについて、食肉加工業者の坂本義喜さんの体験談を紹介されました。「牛を殺す」という具体的な事例をもとに、動物の命を私達はいただき、生かされていることを改めて感じさせられました。「私達は奪われた命の意味も考えず、毎日肉を食べている。自分で直接手を汚すこともなく、様々な方の悲しみも苦しみも知らず、肉を食べている。」という言葉に、日頃から命を粗末にしてはいけないか、感謝の気持ちを忘れてはいないかと自らに問いかける方も多いかったのではないでしょうか。以前、ある小学生の母親が「給食費を払っているのだから、うちの子に『いただきます』と言わせないでほしい」と意見したことが問題になりましたが、「いただきます」の本当の意味を正しく教えていくのも、子どもたちに対する大人としての責任だと思います。無駄に命を奪うのではなく、感謝して命をいただき、そのことが自分自身を大切にすることにもつながるということを、水谷先生からわかりやすく伝えていただきました。

命を大切にするというテーマは、今年五月に開催した講演会での、乙武洋匡先生の話にも通じるところがあります。この世の中には、病気や事故などが原因で、生きることに対しても重

いハンディを負い、普段私たちが当たり前にできることができない方々もたくさんおられます。今月の推薦図書で紹介した『命の授業』の著者、腰塚勇人さんもその一人です。中学校の熱血体育教師として充実した生活を送っていた腰塚さんは、三十七歳の時にスキーで転倒して首の骨を骨折し、医者からは「一生寝たきりか、車椅子の生活になるでしょう」と宣告されました。人生に絶望を感じた腰塚さんは、舌を噛んで自殺しようとしたしましたが、周りの人々の温かい支えと励ましで、生きる勇気を与えたそうです。そして厳しいリハビリに耐えて奇跡的に回復し、学校に復帰した際に、次のような「五つの誓い」を立てたそうです。

「口」は…人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
「耳」は…人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
「目」は…人の良いところを見るために使おう
「手足」は…人を助けるために使おう
「心」は…人の痛みがわかるために使おう

健康で不自由なく手足を動かせること、「元気に仕事ができることに感謝し、動物や植物からいただいた命をエネルギーに変えて、人のため、社会のために貢献していく、そういう意識を持つて日々の仕事に精を尽くしましょ。」そうして、自分のためだけでなく、周囲の人々のためを思つて給料分以上の働きをしていれば、何か予期せぬ問題が起つた時にも、周囲の人から支えられ、社会から大切にされる存在になります。

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。今までのではなく、感謝して命をいただき、そのことが自分自身を大切にすることにもつながるということを、来年はさらに飛躍できる年になるように

志を高く持つて目標を明確に定め、新しい年を明るく迎えましょう。



[訂正とお詫び]

先月号の「Message From President」の中で、「グーグルでは自家用車での通勤は禁止している」とありました。実際には「禁止」はせずに、自社の専用バスでの通勤を奨励しているとのことです。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

今月のオススメ



- 日本一心を揺るがす新聞の社説①②(水谷 もりひと)
- 向上心(サミュエル・スマイルズ)
- 七田眞の人間学⑤(七田 真)
- 30代リーダーが使いこなす 部下を大きく成長させる100の言葉(片山 和也)
- 父から若き息子へ送る 「実りある人生の鍵」45章(フィリップ・チェスター・フィールド)

■ 日本の偉人100人(上)(寺子屋モデル)

- 賢者の書(喜多川 泰)

■ 命の授業(腰塚 勇人)

- いないいないばあ ~松谷みよ子 赤ちゃんの本~(松谷 みよ子)

■ アンデルセンどうわ15話(アンデルセン)

おたより紹介!

✉ さわやか立花館

叔母がお世話になっております。施設の職員、スタッフの皆さんに良くしてもらっております、感謝しております。本人も何とか元気に過ごしており、何時も気にかけて頂きありがとうございます。

(鹿児島県鹿児島市・植原様より)



✉ かんてきや 博多駅前店

あおきさん、やましたさん、くにむらさん、皆さん親切で笑顔がかわいかったです!笑顔で料理を持ってきててくれて、とても楽しくご飯が食べられました。取り皿も持ってきて助かりました!ありがとうございました。(福岡県太宰府市・鈴木様より)

✉ コロッケ倶楽部 徳山店

「朝カラ」をよく利用します。1人で行くことが多いのですが、どのスタッフの方も本当に親切に迎えてくださいます。料理もおいしいし安いので、毎日でも来たいです。忙しい時間でもスタッフの方々は常に笑顔を忘れず、本当に感じがいいですね。100点満点のお店です。

(山口県周南市・重高様より)

✉ コロッケ倶楽部 久留米津福店

おばさんの誕生日だったので、コロッケ倶楽部から来たハガキを使って遊びにきました。ひらかわさんは、最初に受付で対応してくれた時から感じがよくて最高でした。今年私が結婚するので、このメンバーで来れるのもラストかもしれません。そんな中、1人1人に写真をいただいて、本当に良い思い出になりました。ありがとうございました。

(福岡県福岡市・松崎様より)

✉ コロッケ倶楽部 佐世保店

永谷店長からお手紙を頂き感動いたしました。いつもスタッフさんの名前、顔を見るようにしています。みなさんいつもありがとうございます。また来ます。

(長崎県佐世保市・朝長様より)

結婚&出産特集!

Happy
Wedding
and Baby

Congratulations
on marriage!



今津 知弘さん&(旧姓・中瀬)和恵さん

8月31日に結婚いたしました。3月には、第一子も誕生いたします。まだ新婚ですが、家族の重みというのを日々実感しております。

生まれてくる我が子のためにも、夫婦力を合わせて家庭を守っていきます。

コロッケ倶楽部飯塚店／店長・今津 知弘



おめでとう! まことに幸せに…

迫(旧姓・河村)香代子さん&喜代美さん(夫)

知り合って2カ月。「私、この人と結婚するんだ」と直感。本当に幸福いっぱいです。感謝やいたわりを忘れず、二人の人生を築いていきます。

内山社長をはじめ、皆様に祝福の言葉を頂き、有難うございます。この喜びが、皆様に伝染しますように…

さわやか福ふく館／介護職員・迫 香代子



ますどめ しん
益留 慎くん

平成24年11月4日生まれ

Welcome,
Little Prince & Princess!



★しんくんのパパ

ボナー／飲食部門スーパーバイザー・益留 準



うし ふさ ゆめ
牛房 優芽ちゃん

平成24年10月29日生まれ



第一子となります子供が産まれました。名前のように、優しさが芽生える子になってほしいと思いました。今度とも、仕事と子育てを両立していきます。まだ未熟者の私ですので、今後ともご指導を宜しくお願い申し上げます。

★ゆめちゃんのパパ

さわやか枚方館／副施設長・牛房 剛志

私からあなたへ、感謝の

サンクスカード!

✉ ウチヤマグループ・スタッフの皆様へ

水谷もりひと先生を招いての第17回ウチヤマグループ特別講演会は、皆様のご協力のおかげで無事に終了しました。参加されたお客様もたいへん喜んでおられ、次回もぜひ来たいという方も多いいらっしゃいました。夜遅くまでのヘルプ対応、本当にありがとうございました。(ウチヤマグループ本社・舟森清一郎、嶋井太郎、時純憲)

